ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

夢のふくらむ学校

令和元（2019）年
６月８日発行
第１０号
文責（校長）片山　隆

授業参観を終えて～寄せられた感想・ご意見・ご要望など

５月に行った学習参観には、大勢の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。様々なご意見や要望などをいただきました。以下に、主だったものをまとめました。なお、記名のあったご質問等については、直接補習校からご回答申し上げたケースもございますこと、ご了承ください。

部	感想・意見など	
初等部	先生が児童全員のことを考えてくださって、緊張感の中にも全員参加の授業となっていてよかった。	
	先生方が普段どのような目標を生徒に意識させているか丁寧に説明していただき、安心しました。先生方の熱意に感謝します。	
初中等部	懇談会では、先生の方針がよく分かりよかった。保護者同士の交流もできてよかった。	
高等部	高等部の保護者にとって、授業の様子を直に見られる授業参観、先生方と交流できる懇談会は、大変ありがたい機会だと感謝しています。	
	いろいろな背景をもつお子さんに合わせて指導するのは大変だと思いました。	
	質問・要望等	回答
初等部	宿題メールの連絡を授業後なるべく早く送ってほしい。理解できない生徒については、個別に先生からメールでご一報いただけないか。	担任と保護者をつなぐコミュニケーションツールとしてのメールは重要だと思います。効果的に使用できるようにしてまいります。
	クイーンズ内でスクールバスを出してほしい。	交通の便や駐車場のことを考えると、お気持ちは分かります。ただ、経費は原則利用者負担となります。
	授業の進め方に不安を感じる。授業の体裁をなしていないように感じた。学校側の指導監督を望む。	本人からの聞き取りを元に、管理職による授業観察と事後指導を継続していきます。 今しばらくの見守りをお願いいたします。
中等部	個別指導が必要な生徒への対応を望む。	生徒の見守り、指導、保護者を交えてのケース会議など、段階を踏んで行っているところです。
	英語がメインの子にとって教科書の音読の宿題が必須であると思うが、どうか。	「音読・漢字・視写・作文」は補習校の国語教育の基本です。
	新任の教師に関して継続的なサポート・ご指導をお願いしたい。	授業のイロハ、生徒指導のイロハなど、OJT と平行して主幹。教頭が指導しています。今しばらくの見守りをお願いいたします。
高等部	（突然の）現地校の催しで外部の出入りがあり、教育環境や安全管理について不安を覚える。賃料を払っているのだから、補習校の利益は守っていただきたい。	現地校を統括する部署の人事異動があり、以前のような綿密な連絡調整に時間がかかっています。補習校としても、様々なルートで粘り強く交渉を進めてまいります。
	書くトレーニングを重要視してほしい。	毎時のノート記入、課題をはじめ各種コンクールなどへの参加を呼びかけてまいります。
	時間とスピードを重視する余り、子どもたちが置き去りにされている。全面的な授業の仕方の改善を求む。	主幹・管理職による授業参観を重ね、改善点について共通理解を深め、指導を重ねてまいります。
	外部スピーカーの講演や日系企業訪問はできないか。	大変よいアイディアだと思います。特に外部スピーカーの招聘は、中高等部にとって進路を考える上でも有益だと思います。心当たりの講師がおられましたら、是非ご連絡ください。
	Google クラスルームを中高等部で共通に利用してほしい。	利便性と安全性を鑑みて、導入を進めてまいります。

第４０回海外子女文芸作品コンクールの締め切りは、６月１５日です。財団のホームページ https://www.joes.or.jp/kojin/bungei/detail/1 で応募の詳細をよくご確認ください。